

吹奏楽協会だより

2021年5月発行

下松吹奏楽協会事務局 2833-45-1870

下松市教育委員会生涯学習振興課内

吹奏楽協会だより バックナンバーを 掲載しています。 協会 HP ヘ→→→



下松市吹奏楽団(木管三重奏) 第44回全日本アンサンブルコンテスト出場!!

下松市吹奏楽団は、3月20日(土)に宮崎県で開催された全日本アンサンブルコンテスト(全国大会)に木管三重奏の吉田さん、秋友さん、田谷さんが出場し、銀賞を受賞されました。各支部予選を勝ち抜いてきたハイレベルな全国大会において大健闘の結果でした。

アンサンブルコンテスト山口県大会を勝ち上がり、2 月7日に岡山県で開催された第44回全日本アンサンブルコンテスト中国大会に、木管三重奏として出場し、金賞を受賞し、中国支部代表として全国大会の出場権を獲得しました。下松市吹奏楽団は団創立40年の歴史がありますが、中国大会での金賞受賞と全国大会への出場は初ということです。

3月9日に、全国大会出場報告に國井市長の元を訪れました。市吹の山野井団長は、「今回出場する3人は、家庭や仕事をこなしながら、さらに団の全体練習を行いながら、この大会のための個人練習をコツコツと重ねてきた。その努力が実ったのは大変喜ばしく、快挙である」と喜びを報告しました。





出場前に國井市長へ表敬訪問を行いました。

第33回下松吹奏楽のつどい2020が開催されました。

下作和2年の春により長い休校期間や部活動の休止期間がありました。活動が再開しても限られた練習時間、多くの制約ありましたが、仲間とともに楽器と向き合ってきた成果は、ステージから客席に届けられ





9月21日(月・祝)スターピアくだまつ大ホールで第33回下松吹奏楽のつどいが開催されました。新型コロナウイルスの影響により、夏のコンクールなど様々な吹奏楽行事が中止になる中、吹奏楽のつどいも開催の是非が協議されました。

社会情勢を見極めながら吹奏楽団体関係者との協議を重ねた結果、これまで一生懸命練習を続けてきた吹奏 楽部員の発表の機会として、感染症対策を十分に講じた上で開催することとなりました。

通常 1,000 人を収容できるホールの上限を半数の 500 席とし、入場者も協会会員と出演関係者のみに限定しました。また、午前と午後の 2 部制とし 1 回あたりの出演団体数を減らすことで客席や舞台裏の混雑を緩和しました。ステージ上も距離間隔をとるため、通常の演奏配置とは少し異なった形での演奏となりました。恒例となっている全出演団体による合同バンド演奏も行わず、盛大なフィナーレにはなりませんでしたが、午前と午後それぞれ、下松市吹奏楽団によるパワフルな演奏で会は締めくくられました。

コロナ禍での開催で不安もありましたが、なんとか無事に開催することができました。開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様、ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

司会者は、NHK 山口放送局でキャスターとして活躍する藤本珠美(ふじもと・たまみ)さん。

公集小学校金管バンドクラブ、末武中学校吹奏楽部、華陵高校吹奏楽部出身で、「下松吹奏楽のつどい」の OG でもあります。現在も地域のオーケストラで演奏を続けているそうです。



このあともたのしんてください。

1. 公集小学校 47名

指揮 矢田部 幸子 曲目 『パプリカ』 米津 玄師 作曲/山里 佐和子 編曲 『宝島』 和泉 宏隆 作曲/佐藤 博昭 編曲

2. 花岡小学校 30名

指揮 有田 大祐 曲目 『吹奏楽のための組曲』 兼田 敏 作曲

3. 久保中学校 19名

指揮 宮川 由紀子 曲目 『 槿の花 千利休の愛した女 』 福島 弘和 作曲

4. 下松高等学校 33 名

指揮 梅本 純子

曲目 『吹奏楽のための「風之舞」』 福田 洋介 作曲

『 I LOVE ... 』 藤原 聡 作曲/宮川 成治 編曲

5. 下松市吹奏楽団 37名

指揮 上田 憲明

曲目 『宝島』 和泉宏隆作曲/真島俊夫編曲

『J-BEST ~日本を勇気づける名曲たち~』 宮川 成治 編曲

1. 下松)学校 30名

指揮 柿本 晃佑

曲目 『 バルバレスク〜ウィンドオーケストラのために 』

片岡 實品 作曲

『下松小ヒットメドレー

男はつらいよ 男の勲章 勇気 100% (プラスロック) 』

2. 末武中学校 56名

指揮 中村 泰久

曲目 『 Warrior Past 』 J. R. グラム 作曲/郷間 幹男 編曲

『 恋はあせらず 』 H. D. ホーランド 作曲/金山 徹 編曲

3. 華陵高等学校 13名

指揮 田村 早紀

曲目 『カルメン・ファンタジー 』 G、ピゼー 作曲/鈴木 英史 編曲

4. 下松工業高等学校 19名

指揮 伊賀 啓子

曲目 『交響詩「森の詩」』 広瀬 勇人 作曲

5. 下松市吹奏楽団 37名

指揮 上田 憲明

曲目『宝島』 和泉宏隆作曲/真島俊夫編曲

『J-BEST ~日本を勇気づける名曲たち~』 宮川 成治 編曲

第44回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 結果

> 会場 不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)

▶ 小・大・職場一般 12月13日(日)

▶ 中学校 12月26日(土)

▶ 高等学校 12月27日(日)

◆小学校の部

編成	結 果
金管 8	銀賞
告t 0	金賞
日打り	教育長賞
管楽7	金賞
 ₹Ţ 3	金賞
木管 6	金賞
金管 8	金賞
打 4	金賞
金管 8	金賞
	金管 8 管打 8 管楽 7 打 3 木管 6 金管 8

山口県教育長賞=小学校の部の最優秀チーム

◆職場・一般の部

団体名	編成	結 果	
下松市吹奏楽団	金管 8	銀賞	
下松市吹奏楽団	木管 3	金賞・代表	★★ .

小学校の部は、<u>下松小学校(管打8)が第1位である山口県教育長賞</u>を受賞しました。市内から出場した8チーム中7チームが金賞を受賞しました。

中学校の部は、<u>出場5チーム全てで金賞</u>を受賞し、 3 チームが中国大会の出場権を獲得しました。

その他、<u>下松高校(木管 8)と下松市吹奏楽団(木管 3)がそれぞれ中国大会への県代表</u>に選ばれました。

無観客での演奏は、独特の緊張感があったのでは ないかと思います。

◆中学校の部

団体名	編成	結 果
下松中学校	金管 8	金賞・代表★★★
下松中学校	木管8	金賞・代表⋆★★
末武中学校	管打 8	金賞・代表★★★
末武中学校	管打 8	金賞
久保中学校	管打 6	金賞

◆高等学校の部

団体名	編成	結果
華陵高校	木管 3	銀賞
華陵高校	金管 3	銀賞
下松高校	木管 8	金賞・代表 🖈
下松高校	打 5	金賞

第44回全日本アンサンブルコンテスト中国大会 結果

▶ 会場 倉敷市民会館(岡山県倉敷市)

▶ 中・大 2月6日(土)

▶ 高·職場一般 2月7日(日)

◆中学校の部

末武中学校 管打8 金賞 ★★★ 下松中学校 金管8 金賞 下松中学校 本管8 全営	団体名	編成	結 果
₩	末武中学校	管打8	金賞 ★★★.
下松山学校 大管 8 全営	下松中学校	金管8	金賞 Д★★.
	下松中学校	木管 8	金賞

◆高等学校の部

団体名	編成	結果
下松高校	木管 8	銀賞

下松市からは4団体から5編成のチームが中国大会に出場しました。下松市吹奏楽団が木管三重奏で、金賞を受賞し、中国支部代表として全国大会への出場権を獲得しました。中学校の部でも、出場した末武中学校と下松中学校2チーム全てで金賞を受賞しました。

夏のコンクールは中止となりましたが、アンサンブルコンテストは無観客で開催されました。出場辞退する団体もありましたが、大会が無事に開催されたことは、大きな意義があるのではないかと思います。

◆職場・一般の部

団体名	編成	結 果
下松市吹奏楽団	木管 3	金賞・代表 ★

全国大会では、強豪ひしめく中、 見事銀賞を受賞しました!!

吹奏楽のつどいフォトギャラリー





ここにいます!

ステージ上の間隔を取るため、 客席から指揮を振りまし



令和2年度 役員名簿

名誉会長 國井 益雄

顧 問 弘中 伸寛 玉川 良雄

参 与 中馬 好行

会 長 九内 庸志

副 会 長 中村 隆征 安野 政行 酒井 宏高

理 事 古田 尊子 中村 謙一 金子 恭枝

田村 恵代 原田 憲生 内山美保子

黒田 幸子 田中三千男 上土居宏予

山野井一也 梅本 純子 中村 泰久

有田 大祐

監 査 堀川 勝祥 坂田 祐次

事務局 片山 康秀 末次 創

客席は、1 席ずつ間隔を空けました。



令和2年度定期クリニックの中止

毎年2回行っている市内の小中高生を対象とした技術講習会(定期クリニック)について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止しました。来年度は、開催できるよう、少しでも早い終息を願っています。

令和3年度定期総会について(中止のお知らせ)

6月に開催する予定でした定期総会は、新型コロナウイルス感染症防止のため、<u>書面決議での開催とします。</u> 会員の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ

令和2年度も多くの会員の皆様に会費をご納入いただき、厚くお 礼申し上げます。

2年度は、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となりました。その中で、今できることを考えながら、工夫とアイデアが多く生まれ、新しい吹奏楽のあり方や可能性を感じた1年でした。

吹奏楽を通して明るい話題を提供できるように、これからも団体 への支援などの活動を続けてまいります。

また、お知り合いの方などで、趣旨にご賛同いただき、新たに協会にご加入いただける方がいらっしゃいましたら、協会事務局までご連絡ください。



年会費(一口)		
個 人	1,000円	
団 体	3,000円	
賛 助	10,000円	